

事務事業名	放課後子ども教室推進事業		所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
政策名	総合計画体系	(IV) ふるさを愛し豊かな心を育む教育と文化のまちづくり《教育・文化》	所属G	社会教育グループ	課長名	小川 浩
施策名		(25) 青少年健全育成の推進	担当者名	川西泰恵	電話番号(内線)	0854-40-1073 3648
基本事業名		(073)交流・体験活動の推進	予算科目	会計 款 項 目 中事業	放課後子ども教室実行委員会補助金	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(19年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~年度)	平日の放課後や土日に小学校の余裕教室等を活用し、安全・安心な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の支援を受けながら、子どもたちに昔遊び、スポーツ、野外体験、文化伝統活動等の学びや遊びの機会を提供する事業。各実行委員会に対し、運営費(所要経費)を補助金として交付する。	第1次雲南市教育基本計画(平成17年5月策定)に基づき、市内全ての小学校区において「放課後子ども教室(子どもの居場所)」を設置し、「地域の子どもの地域みんなで育てる」という理念の下、青少年の健全育成に資する事業を展開している。

(2) トータルコスト

		単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
① 事業費の内訳(概要)	各教室への補助金	千円						
	報酬	千円						
	国庫支出金	千円	8,526	11,260	10,225	10,225		
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	予算管理・予算執行	人	1	1	1	1		
	活動の運営に関する指導・助言	時間	1,200	1,200	1,200	1,500		
③ 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標	事業費計(A)	千円	12,790	16,892	15,747	15,338	0	
	人件費	千円	4,577	4,666	4,730	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	17,367	21,558	20,477	15,338	0	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終
				(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
② 対象(誰、何を対象にしているのか)	市内すべての子ども(幼児・児童・生徒) ※但し、主な対象は小学生(児童)とし、各小学校区内で活動するもの。	⑤ 活動指標							
		ア 実行委員会の開催(年間)	回	25	24	23	23		
		イ 教室開設日数(年間)	日	3087	3252	3252	3252		
		ウ スタッフ会の開催	回	25	24	23	23		
		エ							
③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	H23に同じ	⑦ 成果指標							
		ア 放課後子ども教室開設の割合	%	100	100	100	100	100	
		イ							
		ウ							
		エ							
④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	・社会でたくましく生き抜く力を身につける。 ・家庭・地域の教育力高める	⑧ 上位成果指標							
		ア 補導件数	%	77	40	52	40		
		イ 青少年の育成活動に参加している市民の割合	%	25.5	25.7	25.2	29		
		ウ							
		エ							

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終
				(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
⑥ 対象指標	市内すべての子ども(幼児・児童・生徒) ※但し、主な対象は小学生(児童)とし、各小学校区内で活動するもの。	ア 児童数	人	2244	2189	2101	2016		
		イ							
		ウ							
		エ							
		オ							
⑦ 成果指標	地域の子どもたちの拠り所となるような学びの機会の提供。	ア 放課後子ども教室開設の割合	%	100	100	100	100	100	
		イ							
		ウ							
		エ							
		オ							
⑧ 上位成果指標	・社会でたくましく生き抜く力を身につける。 ・家庭・地域の教育力高める	ア 補導件数	%	77	40	52	40		
		イ 青少年の育成活動に参加している市民の割合	%	25.5	25.7	25.2	29		
		ウ							
		エ							
		オ							

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
平成20年6月に社会教育法が改正され、市町村の教育委員会の事務として第5条第13号に本事業の実施に関する条文が加えられた。* 授業終了後又は休業日において学校等を利用して行う学習その他の活動の機会を提供する事業の実施	各実行委員会の全体連絡会を適時開催し、取組状況の実態把握を行ったり、担当職員による現場訪問(指導・助言)や研修会の実施により、活動プログラムの質の向上を図ってきた。	利用者(児童)の保護者からは、地元(地域の方々)の協力により子どもを見守っていただくだけでなく、遊びを教えていただいていることに対し、感謝の意と継続実施の要望を常にいただいている。

事務事業名	放課後子ども教室推進事業	所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ ・雲南市総合計画においても一般施策として明確に位置づけられており、地域住民(子どもを含む)が特に必要性を感じていることが参加率に反映されている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ ・全市的な活動を普及していくことで、地域教育力の促進を図ることが「家庭・地域・学校」の連携強化に不可欠であるから。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ ・国(文部科学省)の示す実施要綱に従い、対象は基本的に変わらない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ ・子ども教室の有効性をより一層理解していただくことにより、地域あげでの取り組みとなる可能性がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ ・子どもたちの「生きる力」を育むための学びや体験の機会が確保できなくなるだけでなく、地域の子どもの地域全体で育てる気運、活動及び支援体制、防犯意識等を衰退させることが懸念される。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ ・補助金事業であるため、予算化においては国の基準を逸脱したことは認められない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ ・事業費を下げれば下げるほど、実施回数の減少や学習プログラムの質の低下につながる。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託できないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ ・各教室の運営は、既に各実行委員会にお願いしており地域の実態にあった運営をいただいている。これ以上の人件費の削減余地はないと考える。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ ・市内すべての小学校区を対象としており、参加については公平性を保っている。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・「雲南市総合計画」及び「雲南市教育基本計画」に基づき、事業の充実をめざして取り組んだ。スタッフとして地域住民が関わることで、子どもとのふれあいに生きがいを感じ、地域の子どもの「生きる力」を地域全体で育むスタンスが定着し、地域の理解を深めることが出来た。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		●																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
・これまで以上に成果を上げていくためにも、特に家庭(保護者)の参画を促し、地域・学校・家庭の連携を強め、市民と行政の「協働」による運営を実施していくことが求められる。																							